

平成 21 年 5 月 31 日現在

研究種目：基盤研究 (A)

研究期間：2006～2009

課題番号：18202007

研究課題名 (和文) 日本文学の国際的共同研究基盤の構築に関する調査研究

研究課題名 (英文) Research Studies on the construction of the base of international collaborative studies of Japanese literature

研究代表者

伊井 春樹 (II HARUKI)

国文学研究資料館・館長

研究者番号：50036175

研究分野：平安文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：(1) 日本文学 (2) 国際化 (3) 日本文学翻訳 (4) 文化交流史

(5) 日本文学国際集会 (6) 翻訳論 (7) 日本文学研究ジャーナル

1. 研究計画の概要

(1) 日本文学の受容が日本国内に留まらず、今や世界文学の中の日本文学となった。本研究では、世界各国における日本文学研究の実態調査に基づき、さらに新しい研究領域を展開し、創成することを目指している。

(2) 海外における研究史の整理や、海外の研究者との様々な課題を共有化しながら、コラボレーションを促進する中で研究を深めていくことも視野に入れている。

(3) 各国の情報を集約して継続的に情報収集と発信を手がけ、共同研究を推進し、より多くの人との研究の土台を築き発展させる。

2. 研究の進捗状況

(1) 日本文学の翻訳研究書解題と海外における日本文学研究調査及び文化交流史をテーマとしながら、それに関係する日本文学の研究調査の発表を推進した。幅広い国で日本文学が受容されていることから、本研究課題では、江戸時代 (前近代) までの文学作品で、かつ英語に翻訳されたものを対象として解題作成をすすめている。海外の研究状況の把握は、国文学研究資料館と交流のある国や大学を通して、直接研究者に会って確認する。文化交流史については、明治期に焦点を絞って情報を収集し研究をしている。

(2) その一つとして『世界が読み解く日本』

は、徐一平 (中国)、ロイヤル・タイラー (オーストラリア)、ボナヴェントゥーラ・ルペルティエ (イタリア)、ウィリアム・ボート (オランダ)、ドナルド・キーン (アメリカ)、タチアーナ・サカローヴァ・デリュシナ (ロシア)、セップ・リンハルト (オーストリア)、ジャクリヌ・ピジュー、アンヌ・バヤール坂井 (フランス)、アンドリュウ・ガーストル (イギリス) の 10 人の研究者と対談し、諸外国における日本研究の歴史、意義等をまとめた。これによって、海外における日本文学及び日本研究の歴史的背景が明らかになるとともに、今後の研究のあり方などを知る上での貴重な資料になった。

(3) 明治 20 年代以降、積極的に海外へ日本文化の発信がなされた。その一例として、チリメン本以降に小川一眞が写真版と英文記述による日本の風俗習慣等を刊行した実態と、その内容について調査研究した。この調査は、日本国内のほか、オランダ民族学博物館の資料調査の成果によるものである。

(4) 「日本文学研究ジャーナル」を第 3 号まで発刊した。「文化の交流」「最前線」「レポート」「翻訳事典」「書評」の項目をたて、毎号において最新の成果をまとめている。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。

(理由)

大阪、米国・ハーバード、タイ、インドなどの国内外において、国際研究集会を行い、

海外における日本文学の研究状況を共同研究の成果として披露した。さらに、今年度はケンブリッジでも国際研究集会を行う予定である。また、その成果を「日本文学研究ジャーナル」第1～3号に収録し、好評を博している。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 共同研究

①『日本文学翻訳事典』作成のための基礎研究及び資料収集

②海外における日本文学研究史及び交流史に関する研究と資料収集、整理

③日本と海外とのイメージ形成の研究及び実態調査

(2) 調査収集から情報発信へ

①海外における日本文学関連資料

②海外における日本文学研究機関情報

③海外における日本文学研究情報

(3) 情報交換

①海外とのコラボレーションによる情報交換と研究資源の共有

(4) 成果公開用ホームページの作成

①科研最終年として、これまでの成果を情報として発信

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

① 伊井春樹、Didactic Reading of The Tale of Genji: Politics and Women's Education, "Enrisoning The Tale of Genji", Columbia University Press, 157-170, 2008、無

② 伊藤鉄也、源氏物語本文の伝流と受容に関する試論、源氏物語の新研究、43-84、2008、無

[学会発表] (計1件)

① ステーヴン・G・ネルソン、Murder and the transmission of secret pieces in the Heian Insei period.、12th EAJS International Conference、September 23 2008、Lecce (Italy)

[図書] (計2件)

① 伊井春樹、学燈社、世界が読み解く日本—海外における日本文学の先駆者たち、2008、264

② 伊井春樹、角川学芸出版、源氏物語国際フォーラム集成、2009、420